

令和6年度 宇治病院 勤務医師の負担軽減計画

- 医師と多職種との役割分担推進
 - ・ 初診時の予診の実施（看護職員または事務職員）、静脈採血等の実施（看護職員）、入院の説明の実施（事務職員）、検査手順の説明の実施（看護職員または事務職員）、服薬指導（薬剤師）など
 - ・ 超音波検査士（循環器分野）の資格取得
 - ・ 薬剤師による病棟業務への積極介入
- 特定行為看護師・認定看護師の育成
 - ・ 皮膚排泄ケア認定看護師、栄養関連特定行為看護師、認知症認定看護師の活動活性化
- 医師事務作業補助者の質的向上
 - ・ 人材育成と増員
 - ・ 診断書作成システムの導入検討
- 医師の確保
 - ・ 常勤医の採用（外科、総合内科、訪問診療医 等）
 - ・ 安定的な宿日直医の確保（常勤医師の宿日直免除継続）

令和6年度 宇治病院 看護職員の負担軽減計画

- 看護職員と多職種との役割分担推進
 - ・ 医療機器の臨床工学技士による中央管理化推進
 - ・ 検査場所の変更等による患者搬送時間の短縮
- 特定行為看護師・認定看護師の育成
 - ・ 皮膚排泄ケア認定看護師、栄養関連特定行為看護師の活動体制構築
 - ・ 認知症認定看護師の活動体制構築と認知症ケアチームの立ち上げ
- 看護補助者の確保と業務効率化
 - ・ 全病棟へ事務的看護補助者を各1名ずつ配置
 - ・ 療養病棟へ看護補助者の夜間配置増員
 - ・ 下膳業務の中央化
- 機器導入による負担軽減と業務効率化
 - ・ センサーマット付電動ベッドの購入、院内案内ロボットの導入
- 安定的な人材確保
 - ・ 職員紹介制度の積極的活用、ベースアップ評価料による処遇改善実施